

# 第31回定期地本委員会開催

関東地本は2月18日にさいたま市民会館うらわで第31回定期地本委員会を開催しました。

吉沢委員長から「JR貨物改革を完遂しなければならない。鉄道事業部門が黒字なら我々に還元すべき。春のたたかいは始まっているが、会社の抑制する姿勢を許さない。職場からたたかいをつくり出さなくてはならない」とあいさつがありました。

質疑応答のトップバッターは青年部・紅林事務長が発言しました。「17春闘は青年部も職場の仲間とともに声を上げていく。青年部員の退職が多く50名を超えている。理由は様々だが、多くは労働条件や給与等に問題がある。我々は手足をはいつくばってやっている。」と、青年部員の現状を強く訴えました。

菊地書記長から「春闘はあくまでベア満額を目指す。平和問題・戦争反対・脱原発をしっかりと取り組む。」と答弁を受けました。



満額回答に向けて共に頑張ろう